

岩手県立大学 令和3年度 卒業年次生アンケート 調査結果報告書（抜粋）

令和4（2022）年3月

目次

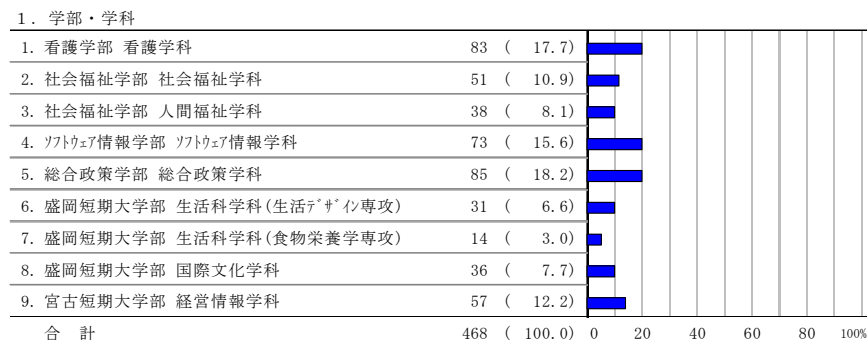
1. 調査の概要	1
2. 調査結果の要約	2

1. 調査の概要

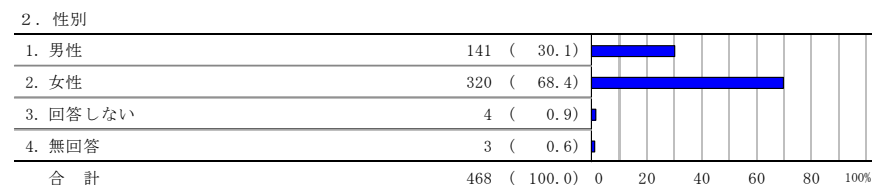
①実施時期：	令和4年1月～令和4年2月
②実施方法：	アンケート票配布・回収方式
③対象者：	岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部 令和3年度卒業年次生（719名）
④回答者：	468件（回収率：65.1%）
⑤回答者内訳：	A-1.・2.のとおり

◆A あなたについてお伺いします

1. 回答者の学部・学科



2. 回答者の性別



2. 調査結果の要約

◆B 教育全般について

- 自ら設定した学習目標を「達成できた」「ほぼ達成できた」という肯定的回答は全体の88.7%で、これまでの調査で2番目に高い数値となっている。
- カリキュラム構成について肯定的意見の割合は全体で94.7%でこれまでの調査の中で最も高い割合となっている。
- 講義概要(シラバス)のわかりやすさの肯定的意見の割合は全体で88.6%でこれまでの調査の中で最も高い割合となっている。
- 教室等の各種学習施設の充実度に関して、肯定的意見の割合は全体で94.3%でこれまでの調査の中で最も高い割合となっている。
- 滝沢キャンパス、宮古キャンパスの各事務室等の対応について、利用者の肯定的意見の割合は全体としてみれば全ての項目において90%以上となっている。
- 平日1時間以上自学・自習した学生は全体で46.2%、休日は56.0%となっている。学部・学科別にみると、看護学部が平日(74.7%)、休日(78.3%)と突出して高くなっている。
- 外国語を習得するため、正課の授業以外で何らかの取り組みをした学生の割合は、全体の24.8%。取り組みの内容としては、「検定試験(英検など)に挑戦した」16.2%、「通信教育や教材で自学した」9.2%等となっている。
- 在学中に海外渡航の経験を有する学生は全体の7.9%。2016年度～2019年度は概ね18%～23%であったが、昨年度、本年度はコロナ禍での影響も及んでいることが推察される。
- インターンシップ(単位認定の有無は問わない。資格要件の実習は除く。)を体験した学生の割合は全体の38.5%。
- インターンシップ・体験学習を体験した学生のうち、「とても有意義であった」「有意義であった」と考える割合は全体の95.0%。

◆C 学生生活について

- 学内のサークル活動に参加していた割合は全体の62.6%。所属別では、社会福祉学部社会福祉学科の参加率が72.5%と最も高く、次いで社会福祉学部人間福祉学科71.1%となっている。
- 地域活動等への参加の有無についての質問では、ボランティア活動に参加したことのある学生が全体の28.6%、学外のクラブ・サークル活動11.1%、地域創造プログラム5.6%、町内会などの活動4.3%、国際交流活動2.8%、となった。

- 入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことのある学生の割合は全体の9.6%。被害・トラブルの内容として上位4項目は、「交通事故」3.6%、「セクハラ、ストーカー等の性的犯罪」2.1%、「アルバイト先でのトラブル」1.5%、「悪徳商法、宗教の勧誘等によるトラブル」1.3%となっている。
- 悩みや不安があるとき、誰に相談しましたかという設問に対して、全体として最も多いのが「先輩・友人」84.0%、次いで「家族」68.4%、「教員」26.3%となっている。
- 1ヶ月の平均収入額は全体として総額80,912円、自宅生は65,738円、自宅生以外は93,613円であった。
- 在学中、定期、不定期を問わず何らかの形態でアルバイトを行っていた学生は全体の87.3%、「定期的に毎月」アルバイトを行っていた学生は全体の53.8%である。
- 在学中の学生生活全般の充実度は全体の91.2%が肯定的回答(「とても充実していた」「やや充実していた」の合計)となっている。

◆D 学内施設の利用について

- 図書館の利用頻度は割合の高い順に「月に1～2日」22.6%、「年に数回」19.7%、「週に1～2日」18.8%、「ほとんど利用しない」13.7%、「試験期間だけ利用」12.8%となっている。全体として「月に1～2日以上利用」する学生は50.6%である。
- 図書館の利用満足度(利用したことがある者の肯定的意見)は全体的に高く、すべての項目において肯定的意見が95%を超えている。
- 健康サポートセンター、学生サポートサロン(滝沢キャンパス)、保健室、学生相談室(宮古キャンパス)について利用したことがない学生も多いが、利用満足度(利用したことがある者の肯定的意見:「満足」+「どちらかといえば満足」)は非常に高く、今回調査においては、全ての項目で95%以上となっている。

◆E 卒業後の進路、就職支援等について

- 卒業後の居住予定地について、全体の55.3%が卒業後の居住予定地が岩手県となっている。東北6県では73.3%となっている。
- 卒業後の進路については、「就職(公務員以外)」が62.8%、「就職(公務員)」が17.3%、「[学部卒業生]大学院への進学(本学)」が4.9%等となっている。
- 就職する地域を選択した理由について、全体としては「私生活が充実しそうだから、暮らしやすいから」が最も高く58.7%、次いで「働きたい企業がある地域だから」46.3%、「自分の出身地だから」46.1%、「自分の夢の実現や挑戦が出来るから」40.6%、となっている。
- 就職先を選択する場合の重視項目は、全体としては「仕事内容(やりがい)」68.0%、「賃金・賞与」61.0%、「勤務地」49.4%、「労働日数・時間」46.3%となっている。

- 就職先について、「第1希望である」「第1希望に近い」と回答した割合は全体の84.6%となっている。
- 岩手県出身者で岩手県以外の都道府県に就職等を予定している者のうち、「何らかの時期で(岩手県内へ)Uターンを考えている」と回答した割合(100-「Uターンは考えていない」-「わからない」)は全体としては32.4%となっている。
- 大学の就職支援サービスを利用したことがある学生の満足度は、項目ごとに若干の差異があるが、2021年度においては全ての項目について、「利用したことがある者」の肯定的意見(「満足」+「どちらかといえば満足」)の割合は全体として95%以上であり高い満足度と言えよう。

◆F 大学への要望等について

- 卒業年次生が感じる本学のイメージについて、全体として最も高い項目は「学部・学科が充実している」45.9%、次いで「地域社会・文化に貢献している」42.3%、「就職状況が良い」39.5%、「地域産業に貢献している」39.1%となっている。
- 卒業年次生が感じる学生のイメージについて、最も高い項目は「個性的である」40.0%、次いで「礼儀正しい」39.1%、「勉強・研究に熱心である」31.2%、「面白味がある」26.3%、「コミュニケーション能力が高い」24.8%となっている。
- 本学への要望等、自由記述で尋ねたところ、教育内容や施設・環境に関する要望や、これまでのサポートに対する感謝などの記載があった。